こころの医療
たいようの丘ホスピタル
2018年1月発行　vol.018
＜初春号＞
発行責任者：原田　俊樹

たいよう通信 ぽかぽかだより

ご家族のみなさま、
新年あけましておめでとうございます。
雪もちらつき、寒さも本格的になってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
本年も職員一同頑張って参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

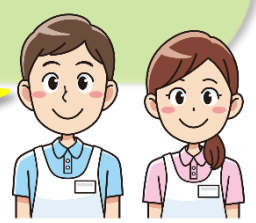
ちょこっとコラム!! ぽかぽか日和。

皆さま、明けましておめでとうございます。１病棟で看護助手として患者さまの生活のお手伝いをさせていただいている畑山です。今日は男性介護スタッフの『ならでは』をいくつか紹介させて頂こうかと思います。

私は主に、お食事や移動、日常生活のお手伝いを通して患者さまとかかわっています。力が必要な仕事は男性スタッフが担うことが多いのですが、椅子やソファーを運んでいると、患者さまから『男の人は力があってすごいなぁ』とびっくりされます。車イスからベッドへの移動にお手伝いが必要な方は、体をしっかり支えてサポートすると『軽々！すごいね！』と言って下さいます。患者さまに喜んでいただき、コミュニケーションが生まれることがとても嬉しいです。

また、排泄や入浴などのお手伝いをさせて頂くこともあります。異性へのお手伝いについて、世間では色々な意見があります。女性はいくつになっても女性ですので、男性スタッフのお手伝いに対し抵抗を感じる方もおられます。当たり前のお気持ちであることを受け止め、必要に応じて女性スタッフと交代することもあります。その中で私が普段から心がけていることがあります。患者さまお一人お一人に日頃からしっかり声をかけ、私自身を知ってもらうようにしています。全てを覚えておくことが難しい患者さまが多いので、何となくでも「安心できる」存在になり、この人ならお手伝いしてもらってもいいと感じていただけるように。そして、患者さまのお気持ちに負担が少ないように、どんなお手伝いをするかをしっかりお伝えしています。日が経つにつれ、お手伝いの際に『ありがとう。』と言ってもらえるようになることも多く、こちらが恐縮するくらいお礼を言われることもあります。

私が入職した頃、私１人だけだった男性介護スタッフも、今では ４ 人に増えました。男性にもできること、男性だからできることを探しながら、患者様と笑い、時に悩み、少しの間でもここに居心地のよさを感じて頂き、笑顔で過ごせる日々のお手伝いができればと思います。（文責：畑山）



本格的に寒い時期です。
ご家族の皆様、体調にはお気を付けてお過ごしください。

行事紹介

年末には新年を迎えるにあたって、毎年恒例しめ縄作りを行いました。何名かの患者さまにも協力していただき、立派なしめ縄が完成しました！スタッフにアドバイスをして下さる方、黙々と作り進める方、昔を懐かしみながらにこにこと眺めていらっしゃる方と様々でしたが、皆さまのとても良い表情が見られていましたよ。たとえ病気があっても、新年を迎える前の清らかな気持ちは忘れないのだと皆さまの表情から感じることが出来ました。病棟の入り口にも飾らせて頂いたので、見てくださったご家族さまもいらっしゃるのではないでしょうか。

これをして…
次は……

一筆一筆に
想いを込めて

立派なしめ縄の完成！！
素晴らしい１年になりますように…

新年を迎えてからは、かるた、コマ回し、書き初め、凧揚げなどを行いました。「よぉせんで～」と遠慮される患者さまも、実際に手に取ってみると体がしっかりと覚えているようで、上手にコマを回し、きれいな字を書いて下さいました。凧揚げでは寒い外まで出てくださる患者さまもいらっしゃり、外には出られなくてもたくさんの方が窓の近くまで見に来て下さいました。私自身、広場中を走り回りへとへとでしたが、たくさんの方の笑顔や凧を見上げる姿、「良かったよ」との労いの言葉に私が自然と笑顔にさせてもらいました。(^^)　今年もよろしくお願いいたします。（文責：護田）

お正月をテーマに
書いていただきました

皆さんに見守られながら、
コツを教えてもらい、いざ挑戦！

～行事のお知らせ～

４月上旬に、１ 病棟前さくら広場で
お花見会 を行います。
※詳細未定ですので、お立ち寄りの際に
職員までお声掛けください☆

先日はクリスマス会へのご参加、ありがとうございました。

さくら広場の樹々
にもつぼみが付き
始めました(^^)/